

キャラクターの動かし方を考えながら撮影しよう

子どもたちは、粘土で作ったオリジナルのキャラクターが活躍する楽しいお話を考えました。そのキャラクターを少しずつ動かしながら撮影して動きのある動画にする「クレイアニメ」づくりを行います。キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫したり、キャラクターに合わせた動きとお話を考えたりしました。

友だちと協力してクレイアニメーションを作ることを楽しんでいました。



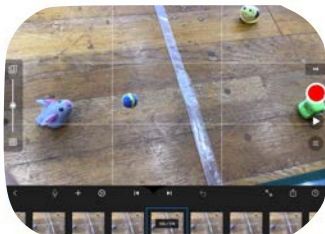
①バレーボールの試合を中心にお話を考えてシナリオを作りました。お話に合わせてバレーボールのコートを作っています。ネットが倒れないように工夫しています。



②友だちと協力してキャラクターやボールを動かします。先生にも協力していただきました。動く速さを工夫しながら撮影をしています。



③撮影したところまでを再生して動きを確認します。コートのギリギリにボールが落ちる場面を取り直してみることになりました。



④別のグループはドッジボールのお話を考えました。ボールが空中を飛んでいる様子を表すために釣り糸を使ってボールを動かしています。自分たちの声も録音して臨場感を持たせました。



⑤「ボールがあたったら、キャラクターが倒れるようにした方がいいね。」「もうちょっとゆっくり動かし方がいいよ。」とお互いにアイデアを出し合って撮影を繰り返しています。



⑥授業の最後に次の撮影をどのように工夫するか？どのくらいで完成できそうか？など、次の活動への見通しを持ちました。クリエイティブな活動はみんな大好きです。

新山小学校 5年 清水英二先生の図画工作の授業をもとに、推進センターで編集しました。



Stop Motion Studioを様々な学びに活用しよう

Stop Motion Studioを使うと、簡単に魅力的なアニメーションを作成することができます。ストップモーションアニメーションは子どもが作ったオリジナルのキャラクターに命を吹き込み創造力を膨らませることができます。

また、中学校の理科の「モデル化の学習」でこのアプリを使って、原子などの動きを再現させる活動を行えば、子どもたちの思考を補助する役割を果たします。

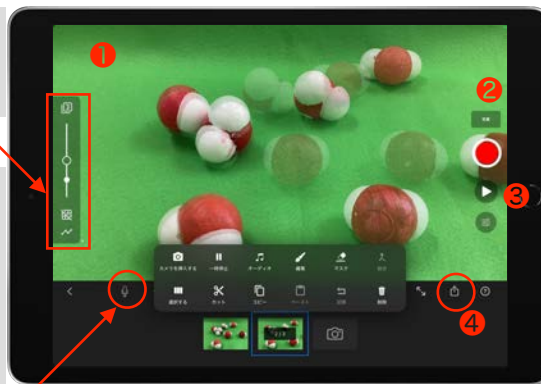
Stop Motion Studioでクレイアニメーションを作るまで

- ① クレイアニメーションに登場するキャラクターを配置します。
- ② それぞれのキャラクターを個別に動かして写真を撮ります。
- ③ 再生ボタンを押すことによって、作品の動きの確認をすることができます。
- ④ 作品が完成したらビデオとして書き出します。
- ⑤ グリーンフェルトを背景にしてキャラクターを動かせば様々な背景に置き換えることができます。

オーバーレイ
スライドさせることによって「前の画像」との違いを確認することができます。

解説とヒント
アプリを起動して最初画面の左上にある

をクリックすることによって、アプリケーションの使い方がビデオで紹介されています。先生が一言説明しなくても子どもたちは自主的に作り始めます。



⑤「マイク」をタップすることによって音を録音して効果を追加することができます。



「再生のスピードを変える」「画像編集」などのヒントが紹介されています。

② Stop Motion Studioはコマごとの動画作りが簡単にできます。また、ナレーションなどの音声も加えることができます。

新山小学校の5年生は図画工作の授業に活用していましたが、その他にも様々な場面で使うことが可能です。

国語の「スミミ」の場面を再現して、スミミの気持ちに迫るといった実践を行っている例もあります。

iMovieと組み合わせるとさらにアイデアが膨らむ

Stop Motion Studioでは「オーディオ」はPremium版で使えるようになります。サウンドエフェクトを加えようとする時にはiMovieと組み合わせると表現の幅が広がり子どもたちの創造力を駆り立てます。



iMovieの「音響効果」の一部